教育長	部長	次長	課長	館長	副館長	係

令和7年度 第1回大津町立図書館協議会 会議録

開催日時	令和7年6月20日(金) 午後3時30分～午後5時00分					
開催場所	おおづ図書館 集会室					
	出席委員	江口 竜一(会長) 吉田 ひとみ(副会長) 太田 昭子 宮野 薫 松岡 征一郎 益田 仁 守田 丈晴 桑原 正浩 保田 和豊				
	欠席委員	村田 典子				
	職務出席者 及び説明者	吉良 智恵美	教育長			
		佐藤 純一	教育部 生涯学習課長			
		矢野 好一	教育部 生涯学習課 課長補佐	図書館館長		
		稲田 奈緒美	教育部 生涯学習課	図書館 副館長		
		前方 優奈	教育部 生涯学習課	図書館 主事		
開催形態	傍聴者 無し					
議題	1 開 会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長選出 6 会長あいさつ 7 議題 (1)【報告】令和6年度の事業実績及び利用状況、事業報告について (2)【報告】令和7年度の運営方針、事業計画及び当初予算について (3)【協議】子ども読書活動推進計画について (4)その他 8 閉 会					

館長	<p>1 開会 2 委嘱状交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 会長・副会長選出 大津町図書館条例施行規則第19条に基づき委員の互選により、会長に江口竜一委員、副会長に吉田ひとみ委員を選出した。 6 会長あいさつ 7 議題</p>
事務局	(1)【報告】令和6年度の事業実績及び利用状況、事業報告について資料をもとに、令和6年度の利用統計、講座・イベント実績等について説明をする。
委員	資料15ページの大津町民の利用状況で「延べ貸出冊数」と「全体貸出冊数」との違いは何か。
事務局	全体貸出冊数については、近隣市町村民の貸出を含めた数値です。団体貸出を含まず、個人貸出のみです。
委員	大津町民以外が4万冊借りているということか。
事務局	そうです。
委員	4ページに「月別貸出冊数(全体)208,100冊」とあるがこれは何の数値か。
事務局	「全体貸出冊数」に団体貸出と相互貸借などすべてを含めた数値です。
委員	子どもたちは借りる冊数を競うものではないと思うが、中学生、小学生ともに貸出冊数、利用者が減少している。それらについて、図書館は何か分析はしているのか。学校としてもそれを知っていれば取り組めると思う。
事務局	小中学生は学校図書館を活用していることが考えられます。また、コロナ以降、読書の形態が変化していて、電子図書館や別のコンテンツ等も読書として含まれているようになってきているのではいかと考えられます。今後より調査、分析して第五次の子ども読書推進計画に活かしていければと考えます。
委員	経年的に小中学生は貸出冊数が下がっているのか。中学校は貸出は微増と聞いた。図書館で借りる人が減っているのか、本離れなのか。また菊陽、合志の図書館はどうなのか。調べると県立図書館はコロナ以降貸出は戻っている。お

	<p>おづ図書館だけのことなのか、大津の子どもたちが読まなくなっているのか、近隣はどうなのか、そのようなことが分かれば、図書館に来てもらえるような方法があると思う。一回も来たことない家庭もあるので、良い取り組みがあればと思う。未就学時期が親子で本に親しむ大事な時期なので、乳幼児のうちから図書館に来てもらえるような取り組みが良い。</p>
事務局	<p>おおづ図書館の貸出冊数はコロナ以降下がっており、回復できてない状態です。貸出のうち児童書の割合は全体の45%前後でコロナ前と同じ数値ですが、貸出冊数は落ちています。0歳から18歳の貸出冊数の割合は全体の22～23%程度で、コロナ前後で変わりませんが、全体的に貸出冊数が落ちています。環境の変化もあり、貸出冊数が読書に親しむ基準とは言えなくなってきたと考えています。</p>
委員	<p>図書館でDVDを借りると字幕がついているものもある。字幕が英語で出れば、英語を聞く力がつくと思う。英語で字幕が出てくるDVDはあるのか。</p>
事務局	<p>おおづ図書館にも外国人が多く来館されるので、外国人向けのサービス提供や多言語化も考えていきます。タブレットを導入しますので、グーグルレンズでの本の翻訳や、日本語を英語に訳す、英語を日本語に訳すなど多言語でコミュニケーションが取れるような方法を考えています。英語字幕が出るDVDの所蔵数は分かりませんが、検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>5ページの資料利用統計で、平成26年度から令和6年度までの貸出冊数は基本的に減少傾向となっている。令和6年度の貸出冊数や貸出回数は平成26年度と比べると減っている。コロナや各々の価値観、図書館に何を求めているかによるとは思うが、あまりにも減りすぎているという印象をもった。このことを考えていかなければと思う。</p> <p>また、6ページ登録者統計を見ると12歳以下と30歳以上は登録者に対して貸出冊数が多い。しかし16歳～20歳は貸出冊数少なくなっている。受験や学校図書館を利用していることが原因と考えられる。貸出冊数の多い年代を伸ばすのか、貸出冊数の少ない高校生、大学生をターゲットにするのか、考えるとおもしろいと思った。</p>
事務局	<p>貸出冊数が落ちているのは難しい問題だと思います。来館者数自体は、本を借りるだけでなく勉強など含め、年間延べ10万人ほどと思われます。本を借りなくても閲覧や雰囲気を楽しむことも、本に親しむということならば、図書館の使命は1つクリアかなと思います。</p> <p>また、家庭読書をどう伸ばすかは公共図書館の使命だと思います。小さい時に本を読む子は読書の習慣が付き、地域の図書館を活用したり、故郷に帰り地元の図書館を利用するなど、おとなになっても図書館に戻ってくると考えます。</p>

	小さいころから本に親しむ環境をどう整えるかを、まずは一つの大きな柱として考えていきたいと思います。
事務局	6ページの7～12歳と30～40代で貸出冊数が多いのは、親子で一緒に借りているためだと思われます。また、一部の小学校に巡回している移動図書館での貸出も7～12歳の貸出に含まれています。中学生で減少するのは、学校図書館に関心が向いているためと考えられます。
委員	5ページの貸出冊数で補足だが、平成28年度は地震での休館などで下がっている。そこから平成30年度にかけて戻っていたが、コロナでの休館で令和元年度に下がっている。市町村別では南阿蘇村と菊池市から以前はよくおおづ図書館に来館されていたが、各地域に新しい図書館ができて、おおづ図書館への来館者が減っているのではないか。
委員	高校生が勉強でロビーに来るように、ロビーに来てもらうだけでもよいのではないか。「一つの場所として提供する」と考えるとよいのではないかと思う。菊陽町では大津町のようなロビーは無いので、とても助かると思うし、涼みに来てもらうくらいの気持ちでよいのではないか。
委員	この図書館の課題は「コロナ以降、貸出冊数が戻っていないこと」なのか。どうして戻っていないのか、他の図書館も同様なのか、大きな課題であると感じた。また、電子書籍は利用統計とは別なのか。この利用は着実に増えている。
事務局	電子図書館は菊池地域の二市二町で運営されており、菊池市からスタートし、大津町は令和2年度中から参入しました。令和5年度には大津小学校の高学年で一括登録を行い、活用されています。今年度は室小学校の5、6年生も使用を開始しています。小学校での一括登録で増えている状況です。
事務局	大津小学校は大規模校なので、学校図書館の利用がままならないため、タブレットで休憩時間などの隙間時間で読書活動を進めたいとのことで、使用してもらっています。
事務局	(2)【報告】令和7年度の運営方針、事業計画及び当初予算について令和7年の運営方針、事業計画、予算について説明する。
委員	1年間の図書の購入費はいくらか。
事務局	約1千万円です。内容は本、CD、DVDです。
委員	Wi-Fi設備更新で15分の時間制限はなくなるのか。
事務局	時間制限は無くす方向で進めています。

委員	19ページのその他で、昨年度の団体見学が4小学校とあるがこれは持ち回りか、図書館から募集をかけるのか。
事務局	小学校の授業で地域学習の時間があり、見学依頼があった学校を受け入れています。
委員	16ページの除籍の件だが、基準に従って本を入れ替えて、魅力ある本があれば来館者も貸出も増えるのではないかと。自分の好きな本があれば手に取る。魅力ある本が並んでいるのは大事なこと。除籍を進めていけば棚のキャパも増えるので、ぜひ実行してほしい。
委員	毎月発行の生涯学習情報誌ではおおづ図書館の記事は3ページだけなので、本の紹介等で更に充実してはどうか。また図書館独自のチラシなども良いと思うが、図書館からの情報発信が少ないのでInstagramなどのSNSも活用すると良いのではないかと。若い世代には効果があるのではないかと。
事務局	生涯学習情報誌は毎月の掲載と、本年5月号では表紙も飾らせていただきました。情報誌内では図書館だよりという形で掲載をしていますが、公民館事業、生涯スポーツ事業や広報に掲載できなかった情報も掲載するため、ページに限りがあります。加えて現在はたくさんのイベント告知にページを割いているため、工夫して図書館の情報も今後できる限り掲載したいと考えています。 ホームページは一昨年リニューアルし、見やすくなったとの声もいただいています。手作り冊子やInstagramなどもできればと考えています。地域おこし協力隊の方と相談しながらInstagramはできる方向で進めていければと思います。
委員	15年～16年前と比べると、イベントが多く実施されており、色々な人が来てイベントを楽しんでいる様子である。以前よりも開かれた図書館になってきている。暑いからロビーに来たり、BGM が流れていたり、お茶も飲めるので、来館しやすくなっている。
委員	イベントでオートバイ雑誌を活用されていて懐かしいと感じ、興味をもって見てみたが、その場で借りることができないのが残念だった。その場で対応いただけると嬉しい。また本田技研にビジターセンターのようなものができたので、連携できればいいと思った。ビジターセンターに行った人が、図書館の紹介を見て本を借りに来るなどにつながるのではないかと。
委員	バイク雑誌はおおづ図書館の一つの売りです。今年もイベント開催予定なので、改善して、より良い企画をしていきたいと考えます。

事務局	(3)【協議】子ども読書活動推進計画について 子ども読書活動推進計画について現状を説明し、委員に意見を求める。
委員	子どももだが、高齢者にとっても、文字の大きい本が増えて嬉しい。
委員	最近 10 代の若者による事件の報道があったが、小中学生時代から本を読む、本に親しむ感性が育っていれば良かったのではないかと考えることがある。SNS も良いが、本を読んで考えることは大切で図書館の存在も大切である。
委員	24 ページの基本的な考え方のことだが、何をもって成果を図るかが難しい。貸出冊数ではなく来館人数か、デジタルで読んでいる人はカウントされないのか、読んだ、考えたということをどう評価するのか。
事務局	冊数は指標ではありますが、読書に触れたことによって何かが変わった、達成感があったなど、そのようなことをおさえられるような指標にしていきたいと思います。
委員	以前夏に館内が暑いと思ったことがあった。省エネも大事だが、夏は涼しく、冬は暖かい環境のほうがより集客力がある。また本を借りるつもりではなく返しに来ただけだったが、図書館に来て新刊を見るとまた借りるというのを繰り返す。そのような形に引き込んでいけば良いと思う。
事務局	見せる工夫は、職員も頑張っています。契約の関係で本の納品が無い時期は、展示を工夫して、おすすめ本などを紹介しています。更に充実させていきます。
委員	(4)その他 DEI(多様性を尊重すること)が基本であるべきと考える。図書館はその中心だと思う。役場は DEI についてどう考えているのか。
事務局	多様性は当然尊重すべきであるという視点で、役場の各課のあり方や窓口対応をはじめ、更なるサービスの充実のため見直しを図っているところです。受付窓口の翻訳機設置や、外国語で案内できる職員の配置もその一例です。共生社会において今求められている役場のあり方について今後も検討し、対応していきます。
	8 閉会 (閉会時間:午後5時)